

奈良県障害者 雇用推進フォーラム



県内企業や就労支援機関等と障害者雇用に係る取組事例や課題等の共有を図り、障害のある人がやりがいをもって働くことができる職場環境を整備する等の「雇用の質」の向上に向けた取組を推進することを目的とした「奈良県障害者雇用推進フォーラム」を令和5年9月7日(木)に奈良ロイヤルホテルにて開催しました。障害者雇用優良事業所等知事表彰、「障害者はたらく応援団なら」登録証の交付(P13に詳述)を行った後、神奈川県立保健福祉大学・東京通信大学名誉教授の松為様にご講演いただきました(P9に詳述)。また、パネルディスカッションでは、行政・企業・就労支援機関がそれぞれの立場から「雇用の質」に関する取組等について発表するとともに、企業からは障害のある従業員にも参加いただき、職場でやりがいをもって生き活きと働くことについてご発言いただきました。(以下、本文に詳述)

パネルディスカッションでのご発言の概要

■(株)CWS基幹物流本部長

末峰さん

2010年以降、弊社の障害者雇用は、障害者就業・生活支援センターに関わりをもちながら進めてきました。障害のある社員は、無期雇用非正規社員の枠組みとしながら、障害のあるなしに関係なく能力評価による賃金体系としています。障害のある方もない方もアットホームな関係でお互い協力しながら、様々な問題は、現場で日常的に解決しています。今後の労働力を確保するために、安全で安心して働くことができる職場環境



(株)CWS 基幹物流本部長
末峰さん

の提供、個人の能力が発揮できる職場環境づくりのためにコミュニケーションを活性化させています。

■(株)CWS社員 森岡さん

就職した頃は、できることも少なかったけれども現場のパートナーさん達からいろんな仕事を教えて貰いました。仕事を覚えて楽しいなど思える時もあります。が、しんどいなと思う時もあります。後輩達が悩んだり、分からない時には、僕は時間をかけて分かるまで教えます。後輩達がいろんなことができるように



(株)CWS 社員 森岡さん

なり、僕以上に仕事ができるようになる。僕はとっても嬉しいです。

■障害者就業・生活支援センター たいようセンター長 村上さん

障害者就業・生活支援センターは、障害のある方が、安心して働き続けることができるよう、仕事面だけでなく生活面においても少しでも何か不安なところがあれば相談できる場のひとつと考えています。何か困ったことがあったら関係者の方々に繋がっていただけるよう相談にのらせていただいています。



障害者就業・生活支援センター
たいようセンター長 村上さん

雇用の質の向上に向けた取組



奈良県福祉医療部長
山中さん

■奈良県福祉医療部長 山中さん
障害者雇用促進法の改正により、今後は障害者実雇用率だけを目標とするのではなく、障害のある方の職業能力の向上、職場で活躍できる環境整備など、各職場の状況も踏まえて、雇用の質の向上を推進していくことが重要となります。雇用の質を向上するためには、障害のある方の適性に合わせ一人ひとりのキャリアを形成していくことや、障害の程度、状況に応じて力を発揮できる環境を整えることなど様々な切り口が考えられます。奈良県としては、このようなフォーラムの開催を積み重ねるなど皆様とともに情報を共有していきたいと考えています。



奈良障害者職業センター所長
佐々木さん

■奈良障害者職業センター 所長 佐々木さん
(ファシリテーター)
障害のある方が望むライフキャリア・ワークキャリアの実現を企業内外においてサポートすることにより、企業における戦力として障害のある方が活躍でき、それに応じた待遇を得ることでさらに充実したライフキャリアを描けるようになるのではないのでしょうか。また、そのことが仕事へのモチベーションの向上にもつながって、さらには、労働生産性が向上するとういう、企業と障害のある方の双方にとっての正のスパイラルが生まれてくるのが期待されると思っています。

コラム

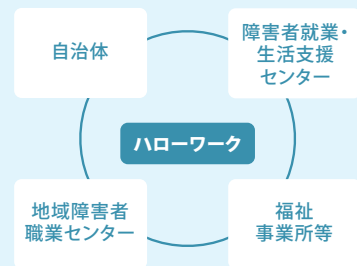
障害者雇用ゼロ企業[※]等に対する「企業向けチーム支援」が実施・拡充されました

企業向け支援チームとは

ハローワークを中心に各種支援機関（自治体、地域障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター、福祉事業所等）が、障害者雇用を一貫して支援するチームです。障害者の雇用経験や雇用ノウハウが不足した雇用ゼロ企業等に対し、企業ごとの求人ニーズに適合した求職者の開拓等の準備段階から採用後の定着まで支援を行います。企業向けチーム支援事業の対象事業所中、新たに53%の企業が障害者を雇用しました。（令和3年度）

※障害者雇用ゼロ企業

雇用義務がある企業のうち障害者雇用が0人である企業のこと



支援内容

準備段階

- ▶ 職場実習の実施 ▶ 企業向けセミナー
- ▶ 就労移行支援事業所・特別支援学校の見学

採用活動

- ▶ 業務の切り出し支援
- ▶ 求人受理

採用後

- ▶ 各種助成金制度の活用支援
- ▶ ジョブコーチ等の活用案内
- ▶ 職場定着支援

企業向け支援チームの取組

「就職支援コーディネーター」や、「精神障害者雇用トータルサポーター」が企業に訪問し、企業のニーズに合わせた支援を提案。

ハローワークが中心となり、地域の関係機関と連携して地域の現状やニーズを踏まえた支援メニューについて検討、効果的・効率的な取組方針を決定。

令和5年度以降は就職支援コーディネーターを増員。（113人→126人へ拡充）

社会で活躍できる障害者の育成と支援



神奈川県立保健福祉大学・東京通信大学

まつ い のぶ お

名誉教授 **松為 信雄 氏**

プロフィール

1973年早稲田大学大学院心理学専攻修了、職業研究所(労働政策研究・研修機構)研究員、障害者職業総合センター主任研究員、東京福祉大学、神奈川県立保健福祉大学、文京学院大学、東京通信大学教授。一億総活躍国民会議委員、障害者政策委員会委員(内閣府)、労働政策審議会障害者雇用分科会委員(厚生労働省)を歴任。

キャリアの現代的な捉え方

一般的にキャリアと聞くと、「ワークキャリア」を指すことが多いですが、より広い概念として「ライフキャリア」というものがあります。私たちは生まれてから死ぬまで、子ども、学生、余暇人、市民、労働者、家庭人など、社会の中で色々な役割を並行して果たしています。それぞれの人生の場面場面において相応しい役割をこなしていき、多くの役割を積み重ねていくことでQOL(生活の質)の向上につながります。

進路選択の考え方は、従来の安定したレールに乗せるという「汽車に乗せる」から、自分でエンジンをかけながら、進む道を探していく「自動車を運転する」に変わってきています。自身のキャリアのオーナーは自分であると自覚して実践していくこと、キャリアをコントロールすることが大切です。また、変化の激しい現代においては、キャリアの8割は偶然の出来事で形成されるという考え方があります。このため、偶然の機会を積極的に増やすよう行動す

ることで、キャリアの展望が広がっていくのです。

働くことへの支援

障害者にとって「働くこと」はライフキャリアにおける最も望ましい役割となります。「働くこと」は社会参加の制約を取り除くための最も強く確かな方法であり、社会統合の促進につながります。適度の作業量は心身機能の活動を促し、総合的な認知能力の改善に有用となり、ひいては新陳代謝の増進により体調や快適な気分の維持、生活リズムの維持につながります。また、自己の尊厳、満足感、達成感、自信、責任感、勇気、未来への希望など、QOLの向上に不可欠な心理的な意義もあります。

障害者雇用の利点

○ 障害特性や職務能力に合わせて働ける業務の見直し、切り出しを行うことは、業務全体の最適化や効率化を見直す機会となります

ます。

○ 障害特性の理解と合理的配慮を踏まえた適切な職務は、生産性の向上と戦力となり得る人材の発掘につながります。

○ 障害特性に配慮した個別的な人事管理のノウハウが蓄積されます。

近未来の障害者雇用

野村総研が、2030年の障害者雇用の姿について大規模な調査を行いました。障害者の働き方に係る大きな変化を次のように報告しています。

○ 障害者マネージャーが増加し、外部からその数や仕事内容が問われる。

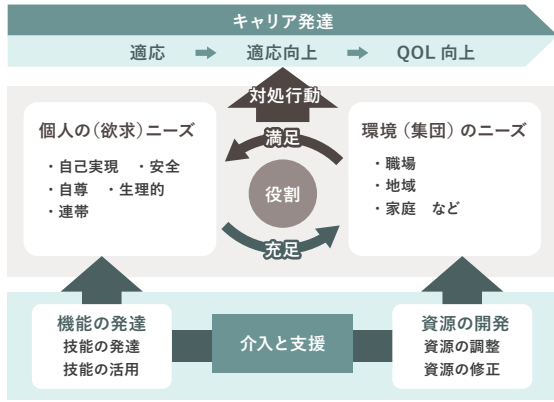
○ 起業や副業・複業の従事者の増加

○ 新規事業等に従事して新たなCDP(カスタマー・データ・プラットフォーム)顧客データの管理)となる。

○ 職域の開拓が「探索(=新規事業開拓)」と「深化(=専門特化)」に分離される。

○ 多様化の進展により様々な特性

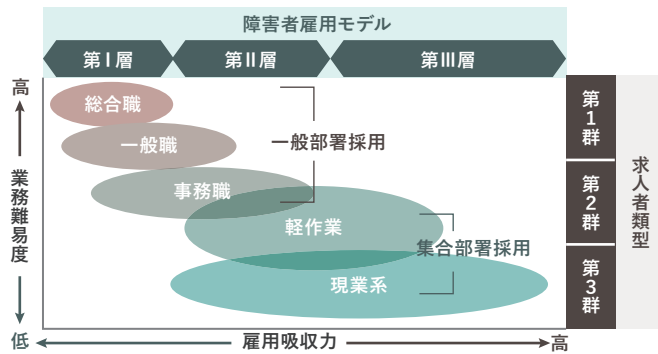
講演 社会で活躍できる障害者の育成と支援



(図1) 職業リハビリテーション支援モデル

※ 障害のある人に対して、職業を通じて社会参加と自己実現、経済的自立の機会を作り出していく取組

のある人が同一社内・職場に存在する。
職業リハビリテーション支援モデル
 左の(図1)は、職業リハビリテーション(※)の支援モデルをまとめたものです。
 働くということには、個人のニーズと企業のニーズがあります。個人が与えられる「役割」を遂行することにより、企業ニーズが充足され、



(図2) 障害者雇用モデルと求人者群の関係

- ・採用活動は、障害者求人(3群)と障害者雇用モデル(3層)との確実なマッチングの遂行
- ・採用面接は、マッチングに注意しつつ合理的配慮を十分に考慮

その充足を通して個人ニーズの満足がもたらされます。働き続けるということは、この役割を介して作られる充足と満足らせん階段を登り続けていくということになります。そのプロセスにおいてキャリアが発達し、QOLの向上につながります。
 職業リハビリテーションにおける支援は、個人の側に向けられたサービスや支援、企業(環境や集団)の側に向けられたサービスや支援との両方を併用しなければならないのです。

障害者雇用モデル

企業自身が障害者雇用のモデルを明確にしなければなりません。(図2)に示す障害者雇用のモデル第1層から第3層に則して、それぞれの業務を分析してください。その上で、階層に応じた障害者求人(第1群から第3群)を明確にするということが大事です。そうしないとミスマッチが発生します。障害者だから第1層の総合職・一

般職は難しく、第3層の業務しかないだろうと勝手に判断することは明らかに間違っていると思います。



奈良県障害者雇用推進フォーラムでの講演

【障害者雇用モデル】

- 第1層**
- ・既存の人事評価制度の対象従業員と同等の業務
 - ・総合職のように一定基準の作業遂行スキルが必要な仕事
 - ・切り出された部分的な仕事ではなく一貫したまとまりのある業務
- 第2層**
- ・第1層から切り出された業務が中心で、工場ライン、事務センター、特例小会社で担う仕事
 - ・対象従業員は定着を志向する人が中心だが、キャリア志向の人も含まれる。
 - ・仕事内容や賃金等の処遇は、相応の幅をもたせた複数段階で構成される。
 - ・第1層への転換制度を設けることが望ましい。
- 第3層**
- ・清掃や郵便物集配など、社内共通のユーティリティワークが中心
 - ・業務は、作業手順や内容を詳細に分解したテキストや写真や動画による「見える化」したマニュアルをもとに行う。

【障害者求人の類型】

- 第1群**
- ・意欲と職務能力がともに高いグループ
 - ・障害に応じた一定の配慮は必要だが、基本的には企業の生産性に直接的な貢献を期待する。
 - ・成果主義にもとづいた目標管理と相対評価に対応する。
 - ・既存の業務を担当して賃金体系もそれに準じるだけの能力のある人
- 第2群**
- ・就業意欲が高い人材と、自分のペースを維持して働きたい人材との中間層に該当するグループ
 - ・意欲や能力面で制約はあっても、自分にできる範囲は正確に遂行する。
 - ・一般的な配属の他に、工場ラインや事務センターや特例小会社での集成的雇用の対象となる。
- 第3群**
- ・生産性よりも手厚い職場定着の支援を必要とするグループ
 - ・第2群のうち、現業作業系や社内ユーティリティ業務を担う。
 - ・第1、2群よりも職務遂行能力に制約があり、継続的な支援が不可欠。
 - ・処遇や賃金も抑えられた設定で、職場定着のための施策が優先される。

障害者雇用優良事業所知事表彰 事業所紹介

大徳食品株式会社 奈良事業所



盛り付けラインで焼きそばに青のりをふりかける作業に取り組む知念さん

Interview

職場実習を通じて雇用につなげる



大徳食品株式会社 本社・奈良事業所

会社紹介

大徳食品株式会社は、明治38年（1905年）に創業し、昭和50年（1975年）に、麺類、だしスープ類、惣菜類、米飯類の製造販売業として奈良県大和郡山市にて設立しました。また、平成24年（2012年）に株式会社サンデリカの子会社となり、山崎製パン株式会社のグループ企業となりました。福祉施設への麺の提供、緊急時における麺の配給、イベントでの商品提供などのサポートを続け、人と環境に密接に関

大徳食品株式会社



管理課長の藤本さん

わり、現代の食文化を担うフロントランナーの責任と自覚をもって社会貢献に取り組んでいます。

障害者雇用の取組

障害のある方を現在8名雇用しています。職場実習を通じて障害特性や配慮点を把握した上で、職場とのマッチングを図って採用に結びつけています。また、地域の障害者就業・生活支援センターとの連携を図り、個々に応じた職場定着につなげています。管理課長の藤本さんは、「近年、県内の特別支援学校から毎年一人ずつ雇用しています。学校から提供される生徒の願いや希望、配慮事項などの情報が雇用するにあたって大変参考になります。職場実習



インタビューに答える 知念さん

は、夏場と11月頃の2回受け入れ、特性や得意、不得意等を把握し、マッチングにつなげています。職場実習を経て雇い入れることは、双方にとって良い仕組みだと思えます」と話されます。また、「実習生には、自分が盛り付けた商品を持ち帰ってもらおうようにしています。商品を通して社会とのつながりを感じてくれる姿に接し、安全で安心できる食品を消費者に提供しているという初心を社員に改めて思い起こさせてくれます」と話されます。

障害のある従業員も一般の従業員同様にライン作業の難易度を徐々に上げて行き、ラインリーダーなど中核的存在に成長してくれるようキャリアアップについても考えているとのこと。

この会社に就職したい

今年の春（令和5年3月）、県内の特別支援学校を卒業し、同社に採用された知念さんに同社に就職したいと思ったきっかけをインタビューしました。

「職場実習を通して、職場の雰囲気や自分に合っていると思えました。それと、福利厚生面で、職員食堂が良かったことです」と笑顔で話してくれました。ラインで作業している時に、トイレや水分補給などを申し出るきっかけづくりは、就職した当初は難しいのではないかと藤本さんは心配されていたそうですが、半年近くになり、周囲の支えもあって、今ではラインの流れを見て、リーダーに早めに伝えることができるようになってきたそうです。



ラインでの盛り付けの様子

休憩時間の過ごし方も就職した頃は、休憩もそこそこにして持ち場に戻ったり、他の作業を手伝ったりしていましたが、今では体を休めることもできるようになり、「体調を崩すことなく元気に出勤しています」と自信に満ちた成長した表情を見せていました。



麺製品製造ライン作業の様子

企業名 大徳食品株式会社
 奈良県大和郡山市西町123-6
 Tel.0743-56-2911
 代表者 同社 奈良事業所
 所長 林 達也
 設立 昭和50年(1975年)
 事業内容 麺類、だしスープ類、惣菜類、米飯類の製造販売

令和5年度 奈良県障害者雇用優良事業所 知事表彰 並びに「障害者はたらく応援団なら」新規登録証の交付

奈良県では、障害のある人を積極的に雇用した事業所、障害者雇用に著しく貢献した団体又は個人、職業自立について成果の著しい障害のある人に対して努力をたたえるとともに、県民に周知し障害のある人の雇用促進と職業の安定に資するために知事表彰を行っています。以下の事業所は、令和5年度、知事表彰を受賞するとともに「障害者はたらく応援団なら」にご登録いただきました。

大徳食品株式会社

明治38年に創業し、昭和50年(1975年)に、麺類、だしスープ類、惣菜類、米飯類の製造販売業として奈良県大和郡山市にて設立しました。また、平成24年(2012年)に株式会社サンデリカの子会社となり、山崎製パン株式会社のグループ企業となりました。福祉施設への麺の提供、緊急時における麺の配給、イベントで商品を提供するなどのサポートを続け、人と環境に密接に関わり、現代の食文化を担うフロントランナーの責任と自覚をもって社会貢献に取り組んでいます。



令和5年度 「障害者はたらく応援団なら」新規登録証の交付

「障害者はたらく応援団なら」は、奈良県と奈良労働局が締結している雇用対策協定の取組のひとつとして、障害者雇用の支援を強化するために、平成26年2月に創設し、県と奈良労働局が共同で運営しています。令和5年度、4社が新規に登録され、計63社にご登録いただいています。

株式会社パル

昭和48年(1973年)に大阪府中央区に本社を設置し、大阪府堺市のダイエー中百舌鳥店にてジーンズショップ「パル青山」の営業を開始しました。レディス・メンズアパレルから服飾雑貨、生活雑貨まで、自社で企画した様々なブランドを通して、多様なファッションライフを創造するお手伝いをしてきました。障害者雇用の取組については、県内の特別支援学校の生徒の職場実習を積極的に受け入れており、直近では、県立ろう学校の生徒を採用し、県内の店舗に配属するとともに、本年より社員登用しています。



株式会社ウィルジャパン

平成17年(2005年)に奈良県大和高田市にて設立し、障害者就労支援事業を中心に障害のある方や様々な理由で社会復帰を目指す方と共に、地域に密着した様々な分野で広く活動を行っています。毎年、県内の特別支援学校から実習生を受け入れ、障害の程度や特性を考慮した幅広い職場実習メニューを提供しています。障害のある方一人ひとりに支援担当者を配置し、体調や相談事に対して日常的に支援を行っています。

上記の2事業所は、令和4年度(2022年度)に障害者雇用に関する優良な事業主として、厚生労働省の「もにす」認定事業主の認定を受けました。



株式会社日電鉄工所

昭和38年(1963年)に奈良県生駒郡安堵町にて創業し、環境に優しい粉体塗装製品の生産拡大および技術力向上による生産効率改善とエネルギー消費の抑制を実現し、社会に貢献できる企業を目指しています。障害のある方や外国人の方との垣根をもつことなく全従業員が共に働くことのできる環境を整備しています。障害者雇用では、特別支援学校や地域の障害者就業・生活支援センターと連携し、障害特性や能力を考慮して配属部署を決めています。



※ 本誌では、「障害」の表記に統一しています。

障害者はたらく応援団なら

奈良県と奈良労働局が共同で運営する「障害者はたらく応援団なら」は、意見交換会の開催、職場実習の実施、就労支援セミナーの開催等、官民が一体となって一般企業等への障害者就労を支援する取組を行っています。

登録企業・団体等の皆様にご協力をお願いしている3つの応援

職場実習拡大への応援

職場実習先の提供

- 職場実習の積極的な受入等
- 障害者雇用ノウハウの提供

障害者理解への応援

各種取組の実施

- 障害者雇用に向けた周知・啓発
- まほろば「あいサポート運動」(注)への参加、実施

働き続けるための応援

職場定着への支援

- 支援機関と連携した職場定着支援
- 個別ケースへの助言

(注)まほろば「あいサポート運動」は、障害の有無にかかわらず、だれもが暮らしやすい共生社会を実現するために、①障害の内容・特性、②障害のある方が困っていること、③配慮の仕方やちょっとした手助けの方法などを知っていただき、実践していただくことを目的として、奈良県が推進している運動です。

県内の登録企業一覧 ※奈良県内で雇用保険の加入手続きを行っている事業所

- 製造業
 - ケイミュー(株)奈良テクノセンター(外壁材製造)
 - (株)ジェイテクト 奈良工場(自動車部品製造)
 - 奈良積水(株)(積水ブランドのユニットバス部品の製造)
 - セキスイハイム工業(株)近畿事業所(住宅製造)
 - GMB(株)(自動車部品製造)
 - 第一化工(株)(各種プラスチック製品の製造)
 - 天龍化学工業(株)(合成樹脂製品の製造)
 - シンワ精機(株)(機械部品製造)
 - (株)ジェイテクトマシンシステム 結崎工場(自動車部品製造)
 - 福西メリヤス(株)(靴下製造)
 - (株)三久工業(金属加工全般)
 - 葛城工業(株)(建築金物製造・販売)
 - (株)日電鉄工所(粉体塗装・建築金物製造・販売)
- 製造販売業
 - 佐藤薬品工業(株)(医療品製造販売)
 - タビオ奈良(株)(靴下卸・販売)
 - ラック産業(株)(繊維製品卸・販売)
 - (株)呉竹(墨、書道、筆記用具等の製造・販売)
- 金融業
 - 奈良中央信用金庫(金融機関)
 - (株)南都銀行(金融機関)
- 旅客運送業
 - 奈良交通(株)(旅客自動車運送)
- 宿泊業
 - (株)奈良ホテル(宿泊施設)
 - (株)マイステイズ・ホテル・マネジメント【奈良ロイヤルホテル】(宿泊施設)
 - (株)ホテルマネジメント【ホテル日航奈良】(宿泊施設)
- 小売業
 - (株)いそかわ(スーパーマーケット)
 - 市民生活協同組合ならコープ(共同購入販売)
- 飲食サービス業
 - (株)アドバンス(日本マクドナルド株式会社フランチャイジー)
- 食品製造業
 - 大徳食品(株)・奈良事業所(種類等製造販売)
- 印刷業
 - (株)アイブリコム(各種紙媒体の制作・印刷)
- 医療・福祉業
 - ウェルコンサル(株)(各種介護サービス等)
 - (福)恩賜財団済生会中和病院(病院・老人保健施設)
 - (福)うねび会(各種介護サービス等)
 - (福)協同福祉会(各種介護サービス等)
 - (福)清光会(各種介護サービス等)
 - (福)奈良市社会福祉協議会(介護保険等社会福祉に関する事業)
 - (福)万葉福祉会 万葉苑(特別養護老人ホーム)
 - (福)萌(障害福祉サービス事業)

- 医療・福祉業
 - (福)ふるぼの(障害福祉サービス事業)
 - ヒューマンヘリテージ(株)(各種介護サービス等)
 - (福)三寿福祉会(各種介護サービス等)
 - (株)ハートフルコープよしの(障害福祉サービス事業)
 - (福)仁南会(各種介護サービス等)
 - (医)清和会(各種介護サービス等)
 - (福)奈良市和楽園(各種介護サービス等)
 - 三宅(株)(各種介護サービス等)
 - (株)ウィルジャパン(障害福祉サービス事業)
- 農産物加工業
 - (株)ハートフルコープなら(農産物の加工:ならコープ 特例子会社)
- 酪農業
 - 植村牧場(株)(酪農、乳製品製造・販売)
- 物品リース業
 - 小山(株)(寝具等リース・販売)
- ビルメンテナンス業
 - アスカ美装(株)(総合的ビルメンテナンス業務)
 - (株)KBS(総合的ビルメンテナンス業務)
 - (株)シティサービス(総合的ビルメンテナンス業務)
- 農業
 - (株)パンドラファームグループ(農業生産・加工・販売)
- その他事業
 - (株)CWS(個配物流システム業務等)
 - なんとチャレンジド(株)(対事業所サービス業:南都銀行特例子会社)

県外の登録企業一覧 ※奈良県外で雇用保険の加入手続きを行っている事業所

- 小売業
 - イオンリテール(株)(総合小売)
 - (株)エーコープ近畿(鮮食食品を中心としたスーパーマーケット)
 - (株)近商ストア(総合スーパーマーケット)
 - (株)パル(婦人・子供服小売業)
- 製造販売業
 - 富士フィルムビジネスイノベーションジャパン
 - (株)大阪支社(複写機などの各種情報機器販売)
- 運輸業
 - ヤマト運輸(株)(宅配便等)
- 飲食サービス業
 - スターバックス コーヒー ジャパン(株)(コーヒー及び関連製品の販売)
 - (株)王将フードサービス(食品製造・販売)
- 不動産総合管理業
 - 大和ライフネクスト(株)(総合ビルメンテナンス業務)

令和5年9月現在 計63社 (下線は令和5年9月登録)

障害者就労支援機関

公共職業安定所

ハローワーク奈良	〒630-8113 奈良市法蓮町 387(奈良第3 地方合同庁舎内)	TEL 0742-36-1601 FAX 0742-36-1608
ハローワーク大和高田	〒635-8585 大和高田市池田 574-6	TEL 0745-52-5801 FAX 0745-53-4181
ハローワーク桜井	〒633-0007 桜井市外山 285-4-5	TEL 0744-45-0112 FAX 0744-45-3990
ハローワーク下市	〒638-0041 吉野郡下市町下市 2772-1	TEL 0747-52-3867 FAX 0747-52-0406
ハローワーク大和郡山	〒639-1161 大和郡山市観音寺町 168-1	TEL 0743-52-4355 FAX 0743-55-0670

障害者就業・生活支援センター

なら障害者就業・生活支援センター コンパス	〒630-8441 奈良市神殿町 656-4(2 階)	TEL 0742-93-7535 FAX 0742-93-7537
なら東和障害者就業・生活支援センター たいよう	〒633-0091 桜井市桜井 232 ヤガビル 3 階 302 号室	TEL 0744-43-4404 FAX 0744-43-4404
なら西和障害者就業・生活支援センター ライク	〒639-1134 大和郡山市柳 2-23-2	TEL 0743-85-7702 FAX 0743-85-7703
なら中和障害者就業・生活支援センター ブリッジ	〒634-0812 橿原市今井町 2-9-19 今井長屋 1	TEL 0744-23-7176 FAX 0744-23-7181
なら南和障害者就業・生活支援センター ハロー Job	〒638-0821 吉野郡大淀町下湊 158-9	TEL 0747-54-5511 FAX 0747-54-5501

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

奈良支部	〒634-0033 橿原市城殿町 433	TEL 0744-22-5232 FAX 0744-22-5234
奈良支部 奈良障害者職業センター	〒630-8014 奈良市四条大路 4-2-4	TEL 0742-34-5335 FAX 0742-34-1899

発行元 奈良県福祉医療部障害福祉課
〒630-8501
奈良市登大路町30番地
TEL 0742-27-8514
FAX 0742-22-1814



奈良労働局職業安定部職業対策課
〒630-8570
奈良市法蓮町387番地
奈良第3地方合同庁舎2階
TEL 0742-32-0209

